

令和5年11月28日開催定例美祢市教育委員会会議録

開催日時 令和5年11月28日（火）午後1時30分から午後2時55分
開催場所 美祢市役所3階「301会議室」

出席委員	南 順子	教育長	
	金子 明美	教育長職務代理者	
	山本 亜由美	教育委員	
欠席委員	松本 孝志	教育委員	3人
	山田 裕治	教育委員	1人

出席教育委員会事務局職員	千々松雅幸	事務局長	
	宇野 勇氣	〃 教育創生監	
	岡崎 輝義	〃 教育総務課長	
	中島 幹晃	〃 学校教育課長	
	野村 一守	〃 生涯学習スポーツ推進課長	
	田中 義和	〃 文化財保護課文化財保護班長	
	大坪 伸彰	〃 学校教育課主幹	
	倉増 裕	〃 教育総務課総務班長	

8人

（午後1時30分）

開 会

事務局長 千々松 雅幸

それでは皆さんこんにちは。

定刻になりましたので、ただいまより令和5年11月の定例教育委員会会議を開催をいたします。

これよりの進行は、教育長お願いいたします。

教育長挨拶

教育長 南 順子

改めまして、皆さんこんにちは。

早いもので、今年も残りあと一月となりました。18日には、美祢市内でも初雪が降りましたが、その後は、小春日和が続いております。

朝夕と日中の寒暖差が激しいせいか、今年は、紅葉や銀杏の紅葉がひときわ

鮮やかに目に映ります。

さて、本日は、大変お忙しい中、11月の定例教育委員会会議に御出席をいただき、誠にありがとうございます。

本日から、新庁舎3階301号室での教育委員会会議となります。教育委員会も、教育総務課、学校教育課、生涯学習スポーツ推進課が新庁舎2階北側に移転をしました。ご覧いただけるとお分かりのように、隣はデジタル推進課、地域振興課というように、他の課と一緒に同じフロアで業務をしております。

美祢市の子ども達や市民の皆様の幸せのために、他部局ともしっかり連携・協力をしながら、より最善の対策を講じていきたいと考えています。

それでは、これからは、着座にて、進行させていただきます。

署名委員の指名

教育長 南 順子

はじめに署名委員の指名をさせていただきます。本会議につきましては、金子委員と山本委員をお願いいたします。

<両名了承>

前回会議録の承認

教育長 南 順子

前回会議録の承認につきましては、松本委員と金子委員をお願いいたします。よろしいでしょうか。

<両名了承>

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました御承認いただきました。

冒頭報告

教育長 南 順子

次に、行事関係について主なもののみ報告いたします。

まず、学校訪問につきましては、10月27日の大嶺中学校、10月31日の淳美小学校、11月14日の綾木小学校、そして11月21日の大嶺小学校と教育委員の皆様方には、早朝から各学校を訪問していただき、授業参加、その後、御指導を賜りまして誠にありがとうございました。おかげをもちまして、今年度の学校訪

問を終えることができました。

続いて、施設一体型 美祢市立小中一貫教育校 美東小中学校設立のための美東地域小学校再編に関わる保護者説明会や地域説明会を実施いたしました。保護者説明会を10月26日に真長田公民館、10月31日に美東センター、地域説明会を11月14日に綾木公民館、15日に赤郷公民館、16日に美東センター、20日に真長田公民館で開催しました。

まずは、大田小学校の校舎を利用して、令和7年4月に大田・綾木・淳美の三つの小学校を一つにした新たな小学校を開校するという事で、各PTA役員会や学校運営協議会と合意したことを保護者や地域の皆様に説明いたしました。

教育委員会だけでなく市長部局等にも同席していただき、質問にも答えていただきました。令和7年4月の開校に向けては、待ったなしの状況ですので、早速、開校準備協議会を立ち上げるために教育総務課を中心に準備を進めております。説明会は、夜の7時から8時ないし9時まで開催され、職員は平日も夜遅くまで、そして、土日にも出勤し、子ども達のために魅力ある学校の設立に向けての大変な業務を保護者や地域の方との信頼関係を大切にしながら、本当に一生懸命進めてくれています。今、教職員の業務改革が叫ばれていますが、教育委員会の業務改革も必要だと思っています。お互いに健康に気を付け、美東地域の未来を拓く学校づくりに向けて、教育委員の皆様方のお力添えもいただきながら一丸となって頑張るつもりですので、よろしく願いいたします。

また、10月30日には、第1回美祢市魅力ある学校づくり検討委員会が開催され、魅力ある学校についてそれぞれのお立場から御意見をいただきました。

昨日、11月27日に2回目の検討委員会を行い、美祢市で育てたい子ども像について話し合いました。この委員会は、公募の方5名を含めた17人の委員で構成され、山口大学教育学部の学部長である鷹岡先生が委員長を務めてくださっていますが、皆さん、本当によく意見を言うてくださいます。折を見て、この教育委員会会議でも協議の内容をお伝えするつもりでいます。

後で担当の課から報告がありますが、11月25日に、ハコフグがトレードマーク。ギョギョツというユーモアあふれる楽しいトークで、幅広い世代から大人気のさかなクンを講師にお招きし、市民大学講座を開催しました。幸い、お天気にも恵まれ、子ども達が大喜びだったのが何よりでした。一番に申し込み、葉書に「僕の夢は、さかなクンに会えることです」と書いてくれたお子さんに花束を渡してもらったのも新しい試みでしたが、とてもよかったですと思います。

東京海洋大学名誉博士、客員教授、それと、私はイラストレーターとタレントさんと思っていたのですが、画家というふうにおっしゃったんです。

本当にすばらしい絵をパッとこういうふうにご描いてくださって、まだたくさんのお絵等も描いていただいておりますので、後で御覧になっていただけたらと思います。

本当に大変分かりやすいお話しで、多彩な才能の持ち主だけあって、描きながら、子供たちの質問にも分かりやすくお答えくださって大変良い市民大学講

座が開催出来たのではないかと思います。

この関係の担当の課は、御心配だったと思いますが、またこういうふうにも、市民の方に喜ばれる講座を開催出来たらと思っております。

絵の方は、あと、しっかり御覧になっていただけたらと思います。

はい、以上大変簡単でございますけれども、行事関係について報告いたしました、何か、御質問等がありましたらお願いいたします。

よろしゅうございますでしょうか。

議題及び議事

教育長 南 順子

はい、それでは続いて議案の審議に入りたいと思います。議案第51号、令和5年度、これは対象は令和4年度の事業になりますけれども、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書の作成について、教育委員会事務局からお願いいたします。

はい、千々松局長。

事務局長 千々松 雅幸

それでは議案第51号、令和5年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書の作成について御説明を申し上げます。

これにつきましては地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項において教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならないと規定され、また同条第2項においては、当該報告書作成に当たっては教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることと規定をされております。

このたび点検評価委員を委嘱している3名の学識経験者の意見を賜り、報告書を取りまとめましたので、教育委員会の承認を求めるものであります。

今後は法律の規定に従い市議会へ提出するとともに、市ホームページで公表することとしております。

それではまず表紙を開いていただきまして、目次により、全体の概要について、御説明をいたしたいと思っております。

Iは点検及び評価の概要です。点検評価の目的とその対象について記載をいたしております。

IIは教育委員会の活動状況に係る点検及び評価になります。この項目の中で教育委員会の活動状況と今後の取組について記載をいたしております。

IIIは教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検及び評価です。

1として実施方法、2点検及び評価の実施、3評価結果、そして、4今後の取組について、記載しております。

最後に参考として、6月28日開催の教育委員会会議で御承認いただきました

令和5年度美祢市教育委員会事務事業の点検及び評価の実施に関する方針を添付いたしております。それでは内容について御説明をいたします。

2ページを御覧いただければと思います。少し重複する部分もございますけれども、Ⅰ点検及び評価の概要についてです。1点検評価の目的ですけれども、これは教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを公表することにより市民への説明責任を果たすこととしております。

そして、この点検評価の結果を今後の事業展開に反映し、効果的な教育行政を推進することを目的としております。

2点検評価の対象は、市教育委員会の活動状況及び教育委員会の事務事業の実施状況としております。

次に、3ページをお開きください。

Ⅱ教育委員会の活動状況に係る点検及び評価です。市教育委員会会議の開催状況ですが、令和4年度は、毎月定例開催の教育委員会会議に臨時の教育委員会会議、1回を含めて合計13回を開催し、議案54件、報告16件の審議を行っております。

次に、4ページから5ページになります。意見交換等の状況ですが、教育委員会会議において、テーマを掲げた意見交換を行っております。テーマについては記載のとおりです。また、適正規模適正配置に関わる情報交換を市内小・中学校長と行っております。

続きまして6ページになります。学校訪問の状況です。教育委員は学校現場の現状把握、教育課題への対応のため令和4年度においては、学校訪問6校を実施しております。

次に、7ページになります。研修の状況についてです。令和4年度における教育長、教育長職務代理者及び教育委員の研修状況を記載をいたしております。続いて8ページになります。5その他の活動の状況ですが、市広報紙への掲載等各種行事への参加状況を記載しております。

なお総合教育会議につきましては、令和4年度は開催をいたしておりません。

9ページになります。Ⅲ教育委員会の事務事業の実施状況に係る点検及び評価です。1実施方法ですが、令和5年6月28日に決定しました方針に基づき、第2次美祢市教育振興基本計画実施計画に掲げる取組のうちの主要な148事業を点検及び評価の対象としております。

10ページから13ページに対象事業一覧を記載をいたしております。基本目標1生きる力を高め、将来を担う人づくりへの取組である69事業、基本目標2生涯にわたり豊かなつながりを育む地域づくりへの取組79事業、合計で148事業を対象としております。

14ページの2点検及び評価の実施ですが、点検及び評価の進め方を記載をいたしております。

まず所管課において、自己評価を行い、次に、学識経験者の知見をいただき、

教育委員会の最終評価、今後進めていくべき方向性を記載いたしております。

対象事業の評価と今後の方向性については、14ページから39ページまでに記載しております。

記載内容は事業の実施状況と成果、所管課により第一次評価、学識経験を有する者の知見、そして、最終評価と今後の方向性であります。

各事業の説明につきましては、省略をさせていただければと思います。

40ページになります。3評価結果、(1)最終評価です。

重要度に関する評価及び有効性を評価した結果、最終評価ではA評価が124事業、B評価が8事業となりました。

これは再掲の16事業を除いております。

41ページの(2)今後の方向性につきましては、事業拡大が8事業、現状維持112事業、期間を定めて見直しが2事業、運営手法等の見直し10事業となっております。

それから42ページの今後の取組につきましては、点検評価委員の知見を踏まえ、PDCAサイクルを実施することで質の高い、教育行政を行っていくこととしております。

以上、説明を終わります。

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。

それでは、今説明のありました議案第51号について、質疑等があればお願いいたします。

よろしいですか。

はい、金子委員どうぞ。

職務代理者 金子 明美

勉強不足で、教えていただきたいんですけども、毎年この時期になると、評価、点検をしてきました。それで、一つ疑問に思っているのは現場とこだわった学校評価はその年のものを評価して、次年度に生かすというふうなサイクルをやっておりました。

本評価については、令和4年度実施のものを評価をして、次の令和6年度に生かすという形で、1年ほど空きますよね。

これは、やっぱり、今年度やったものはまだ記憶に新しくて、次年度に生かしやすいかなというふうに思ったんですが、ただ、今の時点で評価をするということは、事業が終わっていないこともあるのかなと。だから、1年ほど間を置いておられるのかなあといいながらも、何かその辺の仕組みとといいますか、評価の流れがあるのかなと思いますけどどうでしょうか。

教育長 南 順子

はい、千々松局長お願いいたします。

事務局長 千々松 雅幸

金子委員さんの御質問ですけれども、例えば令和4年度事業をやったことの評価といいますと、やっぱり年度が終わらないとどうしても出来ないものもあります。

もちろん早く、早期に終わっているものもありますけども、終わっていない事業もありますので、全体として4年度が終わった段階で、評価をすることになろうかと思えます。

その時点でもう、令和5年度予算はスタートを切っておりますので、制度の建てつけ上どうしても今回やった評価の結果は、6年度の予算に反映させるというふうになろうかと思えます。

ただ御指摘いただいた内容は、令和5年度に行ってきた事業についても当てはまるんですね。

ですので、そういったことについては、もう6年度に反映をさせることができるのではないかなというふうには思っております。

以上になります。

教育長 南 順子

よろしいですかね。はい、ありがとうございます。ほかに御質問等があれば、承りたいと思います。はい、松本委員どうぞ。

委員 松本 孝志

はい、今のお話で、もう一つ教えていただきたいことがですね、19ページあたりですか。

学識経験を有する者の知見の中に、ナンバー28、29の事業の統合のことが書いてあるんです。事業番号31というと、28と29と31というのが、統合されると。ただ、その学識経験者の知見のところ、特色ある教育活動のうちマーチングや太鼓等は視点が異なるように思うというような指摘もあるんですけど、これは今年度は統合されたような形になっているんですかね。

それとも、このときと同じような形で進んでいるのかなと。

これを見ながら今年はどうなっているのかと思って教えてもらったんですけど。

教育長 南 順子

はい、千々松局長。

事務局長 千々松 雅幸

はい、今の御質問ですけれども、予算の組み方というところで、一つの事業と

して予算化したほうが柔軟な対応が出来ますので、そういう意味で統合して一つの事業としているということで、やってることは特に変わりは起きておりません。

これにつきましても、今年度もう既に一つの事業として予算化しているところでございます。

委員 松本 孝志

統合した形でということですかね。

はい、分かりました。

それと、もう1点よろしいですか。

いろんな知見のところを読んでいるとですね、例えばm i n e t oの関係で36のところ、広報等で活動の様子等の周知を継続していただきたいとかですね、事業内容を市民にも発信していただきたいものであるという、周知について一層強化してほしいというようなことが書いてあるんです。

そのとおりだなと思うんですが、こういうふうな形で知見者の意見があれば出来たら最後の実施に関する方針の中にそういう文言があるとこれを見られたときに、今後こういうふうにしていこうかというのが見えるかなと思ったんですけど、そのあたりが42ページから3ページですかね。

教育長 南 順子

42ページ、この取組の④のところに書いてあります。

委員 松本 孝志

ここのこの辺に触れてあるといいかなとちょっと思いました。

これ感想ですけど。

事務局長 千々松 雅幸

はい、よろしいですか。

評価委員の方と直接、やりとりもさせていただいております、確かに教育委員会といたしましたら、市報で公設塾m i n e t oの取組とかは、出しているんですけども、やっぱり見ない方もいらっしゃるし、分からない方もいらっしゃるってことでありましたので、MY Tなんかも使って、時々、イベントの状況だとかいうのは流していただいているんですけども、まだまだそれが市民の方に届いてないっていうのは認識をしっかりとさせていただいたところで、その辺は今後周知活動といいますか、もう少し考えていかなきゃいけないねっていう話はさせていただいたところです。

委員 松本 孝志

私の感想なので、やられていることだとは思いますが。

事務局長 千々松 雅幸

ありがとうございます。

教育長 南 順子

本当に貴重な御意見ありがとうございました。

ほかに何か。今の議案第51号について、御質問や御意見がありましたらお願いいたします。

指名をして申し訳ないんですけど、山本委員さん、何か御意見とかよろしいですか。

はい、じゃ、よろしゅうございますでしょうか。

それでは議案第51号の質疑は一応終了させていただきます。

お諮りいたします。議案第51号、令和5年度、これは、事業対象は令和4年度事業でございますけれども教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書の作成について、説明のとおり御承認いただけますでしょうか。

御承認いただけます方は挙手をお願いいたします。

【全委員挙手】

教育長 南 順子

はい、ありがとうございます。全員賛成ということで承認されました。

それでは続きまして議案第52号美祢市立小・中学校教職員人事異動方針について審議を行います。

はい、学校教育課中島課長お願いいたします。

学校教育課長 中島 幹晃

それでは議案第52号、令和6年度美祢市立小・中学校教職員人事異動方針について御説明いたします。

令和6年度の山口県公立小・中学校及び県立学校教職員人事異動方針を受けて、別添3ページになります、令和6年度美祢市立小・中学校教職員人事異動方針として策定し市内教職員に示したいので、教育委員会の承認を得るものでございます。

3ページの案の特徴を1点だけ申し上げますと、文言については昨年度と変わっておりませんが、今年度も改めて、1番の上から2行ほど各学校の教職員については、本市が推進する児童生徒主体の授業づくりや小中一貫教育、ICT教育の実現に向けて積極的に取り組むことができる人材を配置するということで、各校長から改めて各学校の教職員にこのような方針が周知されている

ところでございます。

以上です。

教育長 南 順子

はい、それでは議案第52号について、質疑等があれば承りたいと思います。
よろしいでしょうか。

特にないようですので、議案第52号の質疑は終了させていただいてよろしい
でしょうか。

はい、それではお諮りいたします。

議案第52号美祢市立小・中学校教職員人事異動方針について、説明のとおり
御承認いただけますでしょうか。

御承認いただけます方は挙手をお願いいたします。

【全委員挙手】

教育長 南 順子

はい、ありがとうございます。

全員賛成ということで承認されました。

それでは議案第53号美祢市人権教育推進委員の委嘱及び解嘱について、生涯
学習スポーツ推進課お願いいたします。

はい、野村課長。

生涯学習スポーツ推進課長 野村 一守

はい、美祢市人権教育推進委員会では、美祢市の人権教育の推進啓発につい
て協議や情報共有を行っておるところでございます。

このたび、任期中の委員の方が人事異動によりまして解職が必要となりまし
た。

これに伴いまして、企業の代表者を新たに委員に委嘱したいので、教育委員
会の承認を求めるものでございます。

なお、この委嘱する委員の任期につきましては、前任者の残任期間としまし
て、委嘱日から令和6年3月31日までとするものでございます。

以上でございます。

教育長 南 順子

はい、それでは議案第53号について、質疑等があれば承りたいと思います。

それでは特にないようですので、議案第53号の質疑は終了させていただきます。
す。

お諮りいたします。

議案第53号美祢市人権教育推進委員の委嘱及び解職について、説明のとおり御承認いただけますでしょうか。

御承認いただけます方は挙手をお願いいたします。

【全委員挙手】

教育長 南 順子

ありがとうございました。

全員賛成ということで承認されました。

それでは事前にお配りした資料にはございませんが当日配付ということで、議案第54号美祢市美東地域未来を拓く学校づくり協議会設置要綱の制定について、お願いいたします。

はい、教育総務課岡崎課長。

教育総務課長 岡崎 輝義

はい、議案第54号、美祢市美東地域未来を拓く学校づくり協議会設置要綱の制定について御説明をいたします。

議案は机上に配布しておりますので御参照ください。

このことにつきましては、6月に保護者団体連名での要望書の提出を受けて協議を行ってきたところですが、協議を重ねた結果、合意形成が得られましたので、10月に3小学校区ごとの保護者説明会、そして今月の20日までに4地区ごとの地域説明会を行いました。

つきましては、施設一体型の小中一貫教育を目指し、まずは令和7年4月1日に、美東地域の大田小学校、綾木小学校、淳美小学校を一つにして、新しい小学校として開校するにあたり、美祢市美東地域未来を拓く学校づくり協議会を設置する要綱を制定するものです。

説明は以上です。

教育長 南 順子

はい、それでは当日配付の資料ということで、お時間を設けますので、しっかり見ていただきたいと思います。設置の第1条、それから、協議事項として第2条、委員の構成として第3条それから任期等が書かれております。

特に部会会議等につきまして、お示ししておりますが何か御意見等ありましたら、お願い出来たらと思います。

はい、どうぞ。松本委員お願いいたします。

委員 松本 孝志

最初の説明資料のほう見ると、これは3校の小学校を一つにして新しい小学

校として開校すると、その前のところに施設一体型の小中一貫教育を目指し、というふうに書いてあるので、今回のこの協議会のほうは小学校を一校にするだけでなく、美東中学校と一体した施設をつくるというところまでこの協議の中で考えていくということになるんですかね。

教育長 南 順子

はい、岡崎課長お願いいたします。

教育総務課長 岡崎 輝義

はい、ただ今の御質問にお答えいたします。

松本委員のおっしゃるとおりで、第4条の任期のところを御覧いただければと思います。

任期は施設一体型の校舎が供用開始される日の前日までということにしておりまして、そのとおりでございます。

以上でございます。

委員 松本 孝志

はい、ありがとうございます。

そうすると、今、魅力ある学校づくり検討委員会を実施されていますけど、これとの兼ね合いというのは当然出てくる可能性ありますよね。

その辺りはいかがですかね。

教育長 南 順子

はい、岡崎課長お願いいたします。

教育総務課長 岡崎 輝義

はい、松本委員のおっしゃるとおり、魅力ある学校づくりも関係してきます。

まずは美東地域で、こちらの未来を拓く学校づくりというのも進めていくと同時に、美祢市全体で今、行っている魅力ある学校づくり検討委員会のほうも進めていき、最終的にはすり合わせを行う事になります。

以上でございます。

委員 松本 孝志

どこかの時点ですり合わせをしないと、進めないという状況になるわけですね。

その辺りの調整が必要だということですね。

はい、ありがとうございます。

教育長 南 順子

ほかに、はい、山本委員どうぞ。

委員 山本 亜由美

協議会の委員についてですけど、3校が一緒になるという事は、人数とかも結構な人数になると思うんですけど、その地域と保護者っていうのは大体どれぐらいの割合で各学校から出す予定ですか。

教育長 南 順子

はい、岡崎課長。

教育総務課長 岡崎 輝義

ただいまの御質問にお答えします。

今、案として考えておりますのが、各小中学校校区の地域の代表者は各3名を予定しております。

そして、保護者の代表者は各小中学校で2名、そして、学校、教職員の代表者は、各小中学校の校長先生を想定しております。

その中で、それぞれの部会に分かれて協議をしていただくということになります。

以上でございます。

教育長 南 順子

よろしいでしょうか。

はい、ほかに何か、後特に2条の協議事項等について、それが部会について、いろいろ具体的協議事項が掲げてありますけれども、そういったところ等で、もし、こういうことも必要じゃないかとか、いろいろお気づきとか御意見がありましたらお願いします。

どうぞ、松本委員、はい。

委員 松本 孝志

協議事項の各部会におかれてというのは、割と事務的なのとか具体的な話し合う内容で、魅力ある学校づくりの検討委員会の中でどんな方向性が出るか分かりませんが、恐らく美祢市の中で、何校か本当絞られた学校になっていくと思うのですが、その学校に本来すごく特色のあるとか、魅力があるとか、そういう学校をつくらうというのがそもそもスタートだったので、この美東においてもどんなコンセプトとか、特色を持たせるかっていうあたりの協議っていうのはすごく大事だなと思っているんですけど、そうすると、その魅力ある学校づくりの検討委員会の中でいろんな意見が出たものを取り込みながらこれを進めていくということにもなりますかね。

今後は、だからどうしてもその辺の協議と並行して、うまく美東の場合もす

ごく特色ある学校はどのような方向にいくんだっていうところがあって、何かこう再編が進んでいけばいいなというふうに思います。

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。

はい、どうぞ、金子委員。

職務代理者 金子 明美

今の意見に関連してなんですが、魅力ある学校づくりは、やはり市の全体でこういうふうな学校というのがあると同時に、美東の特色というか、目玉ってというか、その辺りをやはりこの再編によってクリアにして実践していく。そういう実態を踏まえながらなんですけども、その辺が先ほど言われたようにコンセプト、このような美東の小中一貫をつくり上げていくっていうふうな、本当に土台になるところだと思います。

部会名と協議事項はとっても具体的なことで、でもこれもとっても大事で、必要なんですよね。

すり合わせたりすることもたくさんあるので、それをしながら、やはり、目指すところといいますか、美東地域としての目玉をすり合わせるというか、意見を出し合って共有するっていうふうな、そういうところも何か文言としては上がってないんですけども、とても大切なところではないかなあと、それによって新しい学校への期待も高まるでしょうし、子供たちのわくわく感も、きっと増えていくと思うんですよね。

その辺をやはりこの会議で話して、1回、2回ではないと思うんですけど、継続しながら突き合わせていくっていう対応も必要ではないかなというふうに思いました。

感想です。ありがとうございました。

教育長 南 順子

よろしいですかね。

はい、千々松局長お願いいたします。

事務局長 千々松 雅幸

御意見ありがとうございます。

美東地域は美東地域で議論を関係者で深めてまいります。

美祢市全体としては魅力ある検討づくりの中で議論していくんですけども、課長が申しましたとおり、両方、情報をですね、シームレスな感じでやりとりをしていきたいなというふうに思っております。

美東地域は美東地域の皆さん方で話し合いを進めていただくわけなんですけども、その中でやっぱり美東ならではの、美東だからこそできるとか、そうい

う特色の在り方もしっかりと考えていかなければならないなっていうふうなところでありますし、魅力あるの方には、学識経験者も含めて、多くの専門的な知見を持たれた方も御参画していただいておりますので、美東地域の魅力の出し方についての御助言もいただいて、そういったことを活用していただければいいんじゃないかなというふうに今考えているところです。

教育長 南 順子

よろしゅうございますでしょうか。

はい、それでは、いろいろ貴重な御意見ありがとうございました。

議案第54号の質疑は、一応終了させていただきます。

お諮りいたします。議案第54号美祢市美東地域未来を開く学校づくり協議会設置要綱の制定について、説明のとおり御承認いただけますでしょうか。

御承認いただけます方は挙手をお願いいたします。

【全委員挙手】

協議報告等

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。全員賛成ということで承認されました。それでは続きまして、協議報告のほうに移らせていただきます。

初めに各課からの報告をお願いいたします。

教育総務課、はい、岡崎課長お願いいたします。

教育総務課長 岡崎 輝義

それでは、事前に配付しております補正予算の事について、御説明をいたします。

まず、令和5年度補正予算第6号について、御説明をいたします。

資料は、1ページ目を御覧ください。

これは、令和5年4月1日付及び令和5年8月1日付の職員人事異動及び人事院勧告に伴う職員人件費と、あと、山口県最低賃金が、令和5年10月1日から引上げ率4.5%となったことによる、会計年度任用職員の人件費に係る補正をするものでございます。

また、この人件費の補正に関しましては、市の総務企画部、総務課の所管となっております。

資料の3ページ目の総合計の欄を御覧ください。

669万5千円を追加するものでございます。

続きまして次に資料の4ページを御覧ください。

こちらは11款災害復旧費、3項教育施設災害復旧費、2目補助災害復旧費の工

事請負費につきまして、984万5千円追加しております。

これは、豪雨災害の経過後、麦川小学校で床下浸水後の湿気によりランチルームの床がせり上がったこと、そして、学習室の床に黒カビが発生し出したこと等により、床の改修工事等に要する経費を追加するものです。

なお、この財源につきましては、国庫支出金、地方債、一般財源となります。

それと、補正予算第4号で補正しました、豊田前公民館の災害復旧工事1,331万9,000円が補助事業の対象となりましたことから、財源更正をするものです。

最後に、備品購入費の財源につきましては、その他として、市有物件災害共済会保険金としておりましたが、こちらが対象外となったことから、一般財源に財源更正をするものです。

続きまして、令和5年度補正予算7号について御説明をいたします。

こちらは、2項小学校費、1目学校管理費につきましては、主に、電気料金の単価上昇による不足見込額398万5千円を追加するもので2目の教育振興費につきましては、豪雨災害により被災を受けた小学校に、国際ソロプチミスト、ライオンズクラブ、ロータリークラブから19万5千円の寄附金があり、麦川小、於福小で図書を購入するため19万5千円を追加するものです。

あと3項中学校費、1目学校管理費につきましては、主に電気料金の単価上昇による不足見込額416万6千円を追加するものです。

4項、社会教育費、1目社会教育総務費及び2目公民館費につきましては、主に電気料金の単価上昇による不足見込額24万3千円と、199万1千円の計223万4千円を追加するものです。

5項保健体育費、2目体育施設費につきましては、主に電気料金の単価上昇による不足見込額205万5千円を追加するもので、最後に3目、給食施設費につきましては、需用費では、主にガス料金及び電気料金の単価上昇による不足見込額162万5千円を追加し、委託料ではシルバー人材センターに委託している給食運搬業務において、山口県最低賃金が10月1日から引上げ率4.5%になったことにより、不足見込額64万円を追加するものでございます。

説明は以上となります。

教育長 南 順子

今、教育総務課のほうから報告がございましたが、何か御質問等がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

はい、それではないようでしたら続きまして学校教育課お願いいたします。

はい、中島課長。

学校教育課長 中島 幹晃

はい、学校教育課からの報告3点ございます。

1、学校の様子について資料等ございませんが、実りの秋、今学校について

は文化的な行事がコロナの影響から開放されて無事に終了をしておりますので御報告をいたします。

コロナの影響を回避したところですが、やはりインフルエンザが非常にかかりやすい状況になっておりまして、市内全域一斉にとということではないのですが、地域の行事等があって、週明けたら子供たち半分ぐらいしか登校していなかったのが学級閉鎖をすとか、そういうような状況は五月雨式に起こっているような状況で土曜日に行われる予定だった行事が、平日に移動したということがございましたが、無事に開催されました。

それから、2の部活動改革の進捗につきましては、委員さんの御手元には、第4号の美祢部活動改革通信、少し写真が上のほうに載っているものをお配りいたしましたけれども、野球部の写真が載っておりますが、大嶺中学校1か所に集めての合同の土曜日の地域クラブ活動というものが、野球は月に1回ですが開催されております。

この12月に入りまして、12月の第2週からは市内大嶺中以外の4校の卓球部による合同練習、これが伊佐中学校会場で行われるということで、今までは、美東中学校に、地域の方が来られて土曜日に指導していただくというような形の先行実施でしたけれども、いよいよ市内の複数の部活動を1か所にスクールバスで集めての土曜日のクラブ活動が始まっておるとこの御報告でございます。

下のほうに小学校5、6年の保護者様向け説明会を開催しますということで、呼びかけの記事を出しておりますけれども、ちょうど昨日から中学校区ごとに小学校5、6年生保護者向けの説明会が始まっているところでございます。

中学校の1、2年生の保護者向けの競技別の保護者説明会については、休日の部活動の地域移行の組織が整った種目ごとに既に、5つぐらいの種目は終了しておる状況で、できるだけ地域に出向いて、丁寧に説明をして進めていきたいというふうに思っておるところでございます。

教育創生監 宇野 勇気

出張m i n e t oについて報告をさせていただきます。

10月31日から11月2日までの3日間で、今回も全ての5つの中学校に慶應大学S F Cの学生2名が授業をして回っていただきました。

各校の様子を簡単にお話しさせていただくと、まず10月31日に伊佐中学校にて台湾の水里中学校との交流事業のサポートを学生にさせていただきました。

続いて11月1日には、厚保中学校にて給食の時間を一緒に過ごし、そのあとで厚保クリーン作戦という地域清掃の時間も、こちらは中学校からの要望で大学生と一緒に厚保小中9学年の児童生徒と一緒に地域清掃して関わるという活動を行いました。

そして、11月2日には3校を回りまして美東中学校、秋芳中学校に行って1年生を対象にキャリア教育の授業を行っていただきました。

また、5時間目には大嶺中学校に移動して、3年生を対象に習熟度別のクラスに分かれていたんですが、個別の指導、m i n e t oのスタッフも含めまして大嶺中の3年生の英語の指導を行ったという状況でございます。

いずれの学校も、学校現場からのこういうことを大学生に手伝ってほしいとの声を受けての活動になっています。

少しずつですが学校の中でも大学生をどう活用していったら日頃の活動と切り分けることなく、延長線上で関わってもらえるのかというところを考えてもらえるようになってきたかなというところを感じます。

次回の予定に関してなんですが、まずは日にちは決まっておりますが、2月に昨年もお呼びいたしましたコンゴ民主共和国から長谷部葉子研究会の関わっているコンゴの方が何人かお見えする予定です。

今お話で出ているのはもう日本語もペラペラで、日本にも1年以上滞在した経験のあるコンゴの方が来てくださるんじゃないかなというところを伺っております。

実際にはちょっと向こうの現地の情勢も踏まえて変動する可能性はあるんですが、また決まり次第、御報告をさせていただきます。

以上です。

教育長 南 順子

はい、それでは今、学校教育課のほうから3点御報告ありましたけれども、何か御質問等がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは生涯学習スポーツ推進課お願いいたします。

はい、野村課長。

生涯学習スポーツ推進課長 野村 一守

はい、生涯学習スポーツ推進課からでございます。

まず(1)の市民大学講座についてでございますが、冒頭教育長のほうから報告がございましたので、内容についてはそのとおりでございます。

一部ちょっと補足での説明でございます。この大学講座は事前に689人の申込みがございまして当日の来場者が574人、これが最終の数字でございます。

受付等の職員に聞きましたところ、家族5人で申し込んだんだけどインフルエンザになって、急遽これなくなったという方が、やっぱり多かったということでございました。

出席率といいますか、83%ぐらいの出席ということでよかったんじゃないかなというふうに思っております。

それから、さかなクンが御自身のフェイスブックに当日の内容、状況等を写真つきでアップをしてくれておりました。

美祿市の良い発信になったんじゃないかというふうに感謝をしておるとこ

ろでございます。

(2) 番の駅伝競走大会についてでございます。

今度の日曜日、12月の3日にマツダ株式会社的美祢自動車試験場のほうで開催をいたします。

8部門で46チームの参加というふうになっておりまして、去年より、チーム数にしては2チーム少ないんですけど、高校女子の部、ちょっと参加が昨年もなかったんですが、高校女子の部で西京高校が参加をしてくれるということで、大変うれしく思っております。

続いて(3)、Mチャレスポーツについてでございます。

Mチャレにつきましては、夏にスポーツ6種目、文化6種類を実施をしたところでございますが、夏のスポーツは1日2種目で、3日間の実施をしたところでございます。

1日2種目ということで、移動等も含めまして、参加してくれた中学生に大変忙しい思いをさせて、なかなか十分な体験がさせてあげられなかったというふうな反省を踏まえまして、冬のスポーツにつきましては、1日1種目で5種目、5日間の実施を予定をしております。

種目につきましては、サッカー、空手、ハンドボール、ラグビー、ダンス、この5種目を予定をしております。

当初、水泳を入れておったんですけど、水泳については、諸事情により外しております5種目になりました。

冬のスポーツにつきましては、小学5、6年生も対象といたします。

初回は12月17日、日曜日にラグビーを実施するというところで、既に市内の小・中学校に募集チラシを配布をしております。

生涯学習スポーツ推進課からは以上でございます。

教育長 南 順子

はい、ただいまの報告につきまして、御質問がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは文化財保護課のほうお願いいたします。

はい、田中班長。

文化財保護課文化財保護班長 田中 義和

はい、それでは、文化財保護課から1点、山口ケービングクラブ第30回洞窟講演会の開催について御報告させていただきます。

12月9日土曜日9時半から、秋吉台科学博物館において、山口ケービングクラブ主催の第30回洞窟講演会が開催されます。

講演の第目は、「シーカヤックを用いた海食洞の測量と記載、及び新たな知

見」、そして、「秋吉台北東部における石灰岩洞窟の崩壊メカニズムと形成史と崩壊の検討」、そして「ワンショットケイブ、琴ヶ淵左岸の水中写真」の3件となっております。

市報でも掲載しておりますが、山口ケービングクラブ会員以外の一般の方も参加出来ますので、洞窟に興味のある方は、お越しいただければと思います。文化財保護課からは以上でございます。

教育長 南 順子

ただいまの御報告について御質問がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、続きまして世界ジオパーク推進課お願いいたします。

はい、局長お願いいたします。

事務局長 千々松 雅幸

課長のほうがジオパークの再認定審査に対応しておりますので、私のほうから御報告をさせていただければと思います。

3点ございます。まず1点目、ドンヴァンカルスト台地ユネスコを世界ジオパークとの協定締結についてです。

11月10日、ベトナムのドンヴァンカルスト台地ユネスコ世界ジオパークと、Mine秋吉台ジオパークが連携協定を締結いたしております。

Mine秋吉台ジオパークからは、職員、ジオパーク推進協議会の学術顧問、それからジオガイドの総勢9名がドンヴァンのほうに訪問をいたしております。

そして、ドンヴァンの取組の事例やカルスト台地の出来方、特徴を学ぶとともに、交流を深めてきております。

特にドンヴァンカルスト台地ユネスコ世界ジオパークは地域内に住む17の少数民族の生活をジオパークのシステムを使って向上させていこうとしておられます。

少数民族が生産した農産物を宿泊施設で使用したり、少数民族の人たちの集落を再現し、働く場を提供したりしております。

今後この12月には、ドンヴァンの中学校と、美祢青嶺高校とのオンライン交流や、カルスターにおいて、ドンヴァンカルスト台地ユネスコ世界ジオパークをテーマとしたイベントの開催を予定しております。

ドンヴァンのカルスト台地は面積が2,356平方キロ、美祢市の総面積は473平方キロなんですけども、約5倍の面積がございます。

ドンヴァンは人口31万8,000人ということであります。

特徴としたら17の少数民族、文化伝統を守る活動がされているということで

す。

これがカルスト地形の特徴になりますけども、ドンヴァンは、約5億年前から約2億年前のサンゴ礁が基になって出来た地形であります。

秋吉台は、約3億4千万年前から約2億6千万前とドンヴァンのほうが古いようなところがございます。

大陸の周辺でサンゴ礁が成長し、このカルスト地形ができております。

秋吉台につきましては、赤道近くで、サンゴ礁が成長しつつプレートに乗って移動し、大陸に付加して出来たものであります。

石灰岩のこの厚さですけども、秋吉台は厚さが約1千メートルなんですけども、このドンヴァンのほうは約2千メートル、かなり厚いということです。

溶食、つまり石灰岩が溶けるのが進み、このように切り立ったような山になっているというようなことです。

ちなみにドンヴァンは、ベトナムの一番北部、中国と国境接するようになります。ハノイから車で6時間ぐらいと言っておりました。

大陸の周辺で出来た石灰岩であるため、陸地から土砂等の流れ込みがあり、これが層状になっているということでもあります。

これはムーンサーフェスという月の表面、これは、少数民族の方だと思えます。

生活の向上を図ることを目的に、織物でしょうか、刺繍でしょうか、何かそういうものをされております。

これは行政が整備した少数民族の村ということでもあります。

写真は写っておりませんが、特産品を販売をしているということです。この竹の笛を演奏して、観光課客からチップをもらうということです。

これは特産品のそばということです。

なかなか切り立ったところで、広い農地はないということです。

これが今度、美祢青嶺高校とオンラインで交流する、ドンヴァンのパイルン中学校、美祢のジオガイドが行っておりますので、M i n e 秋吉台ジオパークの紹介をしております。

これが協定の締結式になります。

真ん中に神田課長もおられますけども、市長が署名した締結書を持って行っております。ドンヴァンについては以上になります。

続きまして2点目になります。

日本ジオパーク全国大会関東大会についてであります。

10月27日から29日にかけて千葉県銚子ジオパーク、神奈川県箱根ジオパークを会場に、第13回日本ジオパーク全国大会、関東大会が開催をされております。

大会には市長初めジオパーク推進協議会事務局それからジオガイドが参加

し、ポスターセッションにおいてM i n e秋吉台ジオパークの事例を紹介したり、各種分科会において他のジオパークの先進事例、取組内容等について、情報を共有をいたしております。

今回の全国大会には、大嶺中3年生3名が参加し、ユースセッションにおいては全国の生徒と交流するとともに、各地域の事例発表においては、「私たちのジオパーク学習カリキュラムマネジメント」というタイトルで、全国の生徒の前で発表をしております。

発表前は緊張した、面持ちでありましたけども、発表の際にはもう堂々と、自分たちの取組について発表しております。

課長も言っておりますけども、全国大会の発表につきましては来年度は厚保中を予定をいたしております。

それから3点目です。

ちょっと申し上げましたけどもM i n e秋吉台ジオパーク再認定審査についてです。

11月25日から28日にかけて、ジオパークの4年に1度の再審査が行われております。

本日も、市長、教育長、副市長等との意見交換も行っております。

今回の再審査では桃の木露天掘り跡の視察や、そこを整備され活用される方々との意見交換、秋吉台のジオツアー体験や秋芳洞の再生事業の状況視察などを行っております。

また文化財保護課、それから観光政策課、観光協会とM i n e秋吉台ジオパークの地質、地形遺産、自然遺産、文化遺産の保全状況や、観光イベントなどの活用状況についても意見交換をいたしております。

この審査の結果につきましては、12月14日の日本ジオパーク委員会で発表されることとなっております。

世界ジオパーク推進課からは以上になります。

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。今の報告について御質問などがありましたらお願いいたします。

はい、よろしいでしょうか。

教育委員からの提案及び意見

教育長 南 順子

それでは、今度は7番目の教育委員の皆様方からの提案及び意見ということですが、全体を通してでも構いませんので何か御意見等がございましたら、お

願い出来たらと思います。

はい、山本委員。

委員 山本 亜由美

出張m i n e t oを美東、秋芳見させていただいたんですけど、オンラインだったんですけど、大学生の方が子供たちのことを上手に聞き出して、子供たちと大学生のよい関係性が見られて、子供たちも楽しそうな様子が伺えました。

大学生の方が気軽に中学校に訪ねて行って、子供たちとたくさんかかわれる環境が整っていけばいいなと思いました。

教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。

そのことにつきまして、宇野創生監お願いいたします。

教育創生監 宇野 勇気

見学いただいてありがとうございました。

来年度に向けて実際に二つ検討していることとして、一つは大学生が今、ジオパーク推進課に後藤ひまわりさん、休学して来ていただけてますが、もう少し学校には入れるような、滞在の仕方っていうのがどうにか出来ないかなと検討しております。

もう一つは、仮に現地に来なかったとしても気軽なコミュニケーションの手段としてオンラインで定期的につながるような形、今大嶺中でこれから英語を切り口に、オンラインでの授業支援みたいなことも大学生が動き出そうとしていますので、こういうものが来年度形になって、今のような形よりもさらに、コミュニケーションがとりやすくなったらいいかなというところを考えております。

教育長 南 順子

御意見ありがとうございました。

委員 山本 亜由美

ありがとうございました。

教育長 南 順子

どうもありがとうございました。

ほかに何かございませんでしょうか。

それでは特にないようでしたら、事務局のほうにお返ししたいと思います

います。

いろいろ貴重な御意見ありがとうございました。

次回の教育委員会会議の開催予定

事務局長 千々松 雅幸

それぞれの8番目、12月の定例会議の予定でございます。

12月の教育委員会会議は、12月26日火曜日13時30分からここと同じ301会議室で行います。

それと次回の教育委員会会議での研修に行かれた3名、復伝よろしいですか。

<全員了承>

閉会

事務局長 千々松 雅幸

はい、そういうことでお願いできればと思います。

それではこれもちまして11月の定例教育委員会会議を閉じさせていただきますと思います。

皆さん大変お疲れでございました。

ありがとうございました。

(午後2時55分終了)

令和 年 月 日

教育長

委員

委員

会議録作成